

大沢地区社会福祉協議会だより

# こころ

令和5年12月

三二版 No.45



大沢地区社協 HP

発行 大沢地区社会福祉協議会 編集 広報啓発事業部会  
事務局 相模原市緑区大島1776-5 電話 042-713-1554  
メールアドレス oosawatiku@sagamiharashishakyo.or.jp



## 4年ぶりに福祉バザーを開催！

10/1（日）福祉バザーを大沢中学校体育館にて開催しました。令和元年以来、4年ぶりとなり、お客様と販売スタッフが楽しそうに対話し、予想以上に活気がありました。バザー品を提供して下さった皆様、準備や販売に協力していただいたボランティアや大沢中学校の方々に感謝いたします。

バザーの収益金は、地域福祉活動やボランティア団体等の活動資金の一部として地域のために役立たせていただきます。

来場者数：約100名

売上金額：91,015円

地域の方々との交流の機会の一つとして、とても有意義な事業となりました。



共同募金のコーナーを設置し、皆様から温かい募金をいただきました。



福祉コミュニティ形成事業のこむこむ茶屋のPRとして併設したキッズコーナーに、こどもたちが集まってくれました。

## 大沢地区「こそだておさんぽマップ」を発行しました

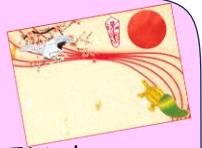


子育てに必要な情報をまとめました。大沢地区は歴史があり、自然がいっぱいで子育てにピッタリ！コミュニティバス「せせらぎ号」で北公園や自然の村公園へおでかけしませんか。

お祭りなどの楽しい情報も掲載してます。

発行 大沢地区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会  
配布 大沢公民館、大島こどもセンター、他  
問合せ先 大沢地区社会福祉協議会 TEL 042-713-1554

## 地域敬老事業でお祝い品を配布しました



大沢地区では、今年度も敬老事業をおこないました。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、郵送でおこなっていましたが、大沢地区内の4団体（大沢地区民生委員児童委員協議会、大沢地区自治会連合会、大沢地区親茶会連合会、大沢地区社会福祉協議会）で協議し、4年ぶりに対象者（大沢地区内の令和5年4月1日時点で80歳以上）のご自宅を訪問して敬老祝い品をお届けすることになりました。

大沢地区社会福祉協議会の部会員や民生委員・児童委員が祝い品の準備をおこない、民生委員・児童委員（大沢地区民生委員児童委員協議会）が、9月から順次、祝い品をお届けしました。



お祝い品：お吸い物や、おだし、五目御飯、茶碗蒸しなど幅広く使える椎茸茶や梅昆布茶・昆布茶のセット

受け取った方々の声：

- ◆「民生委員さんからお祝い品とともに、体調にも気遣いしていただき、感謝しています」
- ♠「今年もお祝い品をいただきました。一人暮らしは寂しいものですが、何とか元気にやっております」
- ◆「お茶をいただき、ありがとうございました。早速、お友だちと飲みました」

## 大島小学校の福祉教育の協力をおこないました



段差を乗り越えるのは簡単じゃない



このままだったら水道に届かないよ



トイレに入るには時間がかかる



教室の出入口は意外と狭いなあ



高齢者疑似体験の装具を付けて



財布からなかなかお金を出せない



階段の上り、下りを体験してみた



体験後に、質問したり感想を話す児童たち

大島小学校で6月9日（金）に車いす体験、7月7日（金）に高齢者疑似体験の福祉教育がおこなわれ、大沢地区の社会福祉協議会と民生委員児童委員協議会が、協力をしました。

参加した児童たちは「車いすでもできることがたくさんあるし、できないところをお手伝いしたいです」「困っている人をみかけたら、声をかけていきたいです」「財布からお金を出すのが大変。高齢者がレジの会計に時間をかけていても、ゆっくり待ちます」「階段は上りより、下りが怖かった～。急に後ろから走って抜かすとビックリするってわかった」。

児童たちは体験して「大島小学校が目指している“だれにでも優しい町の実現”に向けて、自分たちがどうしたらいいか？」と、いっぱい考えて、実際に行動しているそうです。今後も小・中学校の福祉教育のお手伝いをおこなっていきます。